

このいささかのどかな伝統の町にあって、わが管理科学科は情報化時代の先鞭たるべく、学生定員40名の小所帯ながら隣接学科の経営学科、会計学科さらには経済学科と連繋して情報科学の研究と教育に励んでおります。学科構成は、電子計算機総論、情報処理論、情報組織論、産業工学、機械化会計の5講座です。滋賀大学の管理科学科は経済学部を母体にしておりますので、工学部に設置されている情報関係の学科と比較して経済・経営的色彩が濃いのが特徴です。工学部の学生同様、各種言語、アルゴリズムの習得を要請されますが、あくまでも経済・経営のバックグラウンドを前提にしており、その志向を反映して本学科のスタッフも文科系出身者と理科系出身者が半々といったところです。次に各講座のスタッフをご紹介します。

〔電子計算機総論講座〕吉井 典章教授は代数学専攻の数学者でアルゴリズムの権威です。計算センターの所長としてTSSシステムの新規導入に努力してきました。森健一助教授は昨年大阪府大の経営工学科から移籍しました。現在経営情報システムの研究に取り組んでいます。本学会会員です。

〔情報処理論講座〕森 将豪助教授は電子工学科卒の

研究者でソフトウェア工学の専門家です。最近、人工知能を導入した計算機の研究に熱心です。

〔情報組織論講座〕吉田 貞夫教授は図書館学の権威ですが、その学問的バックグラウンドをいかして、計算機による情報検索論を展開してきました。堀本三郎助教授は計量経済学出身の研究者で、本学では経営統計を研究テーマにしています。

〔産業工学講座〕吉田 稔助教授は経営学専攻で経営計画論を研究しています。本学会会員。熊沢吉起助教授は品質管理および信頼性の問題の統計学的性質の解明がテーマです。本学会会員。

〔機械化会計論講座〕清水哲雄教授は会計学専攻でコンピュータ簿記の権威です。後藤雅敏講師は会計学の専攻で情報理論と会計学の統合をテーマにしています。

以上、管理科学科の構成員を紹介してまいりましたが、一同に共通した問題は、やはり数学的素養を前提にしないで、数理科学や計算機科学の成果を学生に教えることが容易でないことです。この教育問題はいわゆる“文科系の管理科学科”に所属する教官にとって終わることのない課題であります。学会の先生方の示唆がいただければ幸いです。(吉田 稔)

会合記録

編集委員会(OR誌)

1月7日(水)(8)

表彰委員会 1月8日(木)(7)

理事会 1月12日(月)(17)

OR・JIMA合同研究発表会打ち

合せ会 1月26日(月)(8)

IAOR委員会 1月27日(火)(2)

30周年記念事業委員会

1月29日(木)(6)

第5回理事会議題

62.1.12

1. 第4回理事会議事録の件
2. 入退会の件
3. 昭和60, 61年度会費未納者(除名対象者)の件
4. 会友制度の件
5. 賛助会員に関する定款ならびに細則改正の件
6. 賛助会員増強活動の件
7. 賛助会員強化活動のための新規事業について

8. 研究部会の新設ならびに継続の件

9. 昭和62年度秋季研究発表会の件

日時: 昭和62年10月17・18日

場所: 文教大学

特別テーマ: 福祉と老後(仮題)

10. OR/JIMA合同研究発表会打合せの件

11. 第2回連合シンポジウム収支報告の件

12. 中日信頼性シンポジウム

13. JORSJの新編集方針

14. 30周年記念事業委員会報告の件

15. 第3回四半期収支計算報告の件

16. 昭和62年度事業計画案ならびに予算案の件

入退会

(61.11.11~62.1.12)

●61年度入会(正会員)

大西 治男 筑波大学

野口岩男 昭和大学

●61年度退会(正会員)

相曾 益雄 日本アイ・ビー・エム(株)

石井 政雄 日本下水道事業団

石井 侃 セイコー電子工業(株)

梅津 正照 兵庫医科大学病院

上田 典男 日本電気情報サービス(株)

岡村健二郎 武田薬品工業(株)

小川 勝嗣 昭和シェル石油(株)

河原畑良弘 (株)奥村組

小林 久志 プリンストン大学

茂原 一洋 (株)電力中央研究所

竹内 節 日本電気フィールド・サービス(株)

立野 靖章 川崎製鉄(株)

谷口 和正 川崎製鉄(株)

田村 洋一 山口大学

都築 均 愛知県立刈谷高等学校

富永 正 豊田工業高等専門学校

中島 一雄 (株)コンピュータアプリケーションズ

中村 正躬 関西大学

野村 邦彦	日本アイ・ビー・エム ㈱	原 亨	ファンック㈱	加藤 三治	千代田化工建設㈱
浜本 優	㈱コンピュータアプリ ケーションズ	南崎 信哉	日本システム㈱	小谷 哲雄	千代田工商㈱
早田 和男	川崎製鉄㈱	吉田 正己	加古川市役所 (学生会員)	野路 福三	中小企業事業団
半井 真司	日本国有鉄道	石澤 孝	東北大学	柴崎 雅史	日本電信電話㈱
広田 薫	相模工業大学	武上幸之助	早稲田大学	渡辺 裕司	新日本製鉄㈱
藤崎哲之助	日本アイ・ビー・エム ㈱	関根 一彦	筑波大学 (賛助会員)	伊藤 裕康	富士通㈱
村越 稔弘	早稲田大学	㈱住友銀行		小倉 岑生	大阪市立扇町商業高等 学校
吉竹 弘行	鹿島建設㈱	日産自動車㈱		久保田忠義	出光石油化学㈱
門田 博隆	四国電力㈱	●移動		後藤 一洋	吉富製薬㈱
佐藤 洋一	四国電力㈱	有定 愛展	九州大学→ 広島修道大学	刀根 光信	福岡北九州高速道路公 社
鳥居 裕	四国電力㈱	高橋 正明	東海大学→ 横浜ゴム㈱	永嶋彰代嗣	住友信託銀行
大槻 茂樹	㈱経営企画研究所	田中 克彦	東京大学→ 日本電気㈱	三野村圭右	日本電気㈱
青山 義彦	㈱日立製作所	山田 和敏	九州大学→ 熊本大学	森 宏	㈱三菱総合研究所
木田 精治	ヤンマー農機㈱	●復活		山内 豊	㈱コンピュータアプリ ケーションズ
児矢野 繁	㈱東芝	三宅 功	日本電信電話㈱	吉田 祐治	九州大学 (賛助会員)
小山 明茂	日本ゼオン㈱	●62年度入会 (正会員)		㈱社会調査研究所	
祖父江 健	カンオ計算機㈱	井上 文彦	共栄工業㈱	㈱三菱銀行	
鈴木 哲	日本デジタルイタイ ップメント㈱				
南日 恒夫	日本テレビ放送網㈱				

編集後記▶編集委員をお引受けしてから早くも2年近くが経ちました。残りの任期の間と、次期の編集委員の方々の活動が軌道にのるまでの間の数カ月分の特集テーマについて、ほぼ企画が固まり、ようやく先が見えてきたといった心境にあります▶OR学会が、この程度の規模ながら月刊誌を出し続けられているのも、会員諸兄と事務局、編集委員会とが一体となって協力合っているからだと思えますし、また、この月刊誌があるからこそ、この一体感が生み出され、強められているのだと考えながら編集の仕事を続けてきました▶会員のバックグラウ

ンドや活動の領域が広いため、興味の対象や関心の焦点もさまざまです。そうした会員の皆様へ、どのようなテーマで特集を組んで提供するかは、なかなか難しいものです。春秋の研究会、講演会、シンポジウム等々努めて顔を出し、アンテナを張りめぐらしてはありましたが、おりに触れての皆様からのご提案、ご意見が大変参考になりました▶ぜひやりたい特集のテーマがありながら、執筆していただける人を見つけられずに企画し残したものも多くあります。至らぬ点のお許しをお願いするとともに、次期の編集委員会に期待するところ大です。(F)

オペレーションズ・リサーチ

昭和62年3月号 第32巻 第3号 通巻315号
 代表者 吉山博吉
 発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル
 (電話 03-815-3351~2) 〒113
 編集人 柳井浩
 発売所 株式会社 日科技連出版社
 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ

定価 850円 (郵送料含) 年間予約購読料 9600円 (郵送料含)

●本誌への広告お申し込みは明報社 (571-2548)、日経弘報社 (563-2241) へ